



ホンドギツネ って知ってる？

～現代を生きる「ごんぎつね」～

「ごんぎつね」は人の身近な場所で暮らす狐の「ごん」と人々との関わりを描いた新美南吉の代表作です。実はその「ごん」のモデルになっているホンドギツネという狐は、今も人々のすぐ近くで暮らしているのです。現代を生きる「ごんぎつね」は一体どんな暮らしをしているのでしょうか？

2026年

日時

10月10日(土)

13:30～15:30 (開場13:00)

会場

羽島市立図書館 2階研修室
(羽島市竹鼻町丸の内6丁目2)

定員

60人

参加無料
要申込・先着順

申込受付 9月5日(土) 開始！

対象

小学4年生以上の方なら
どなたでもご参加いただけます。

講師

自然と人をつなぐ写真家

渡邊 智之 氏



自然と人の見えにくい「つながり」をテーマに人の身近に暮らす生き物や自然と関わる文化を撮影。ホンドギツネを10年以上追いかけて続ける。



NHK「ダーウィンが来た！」などの撮影も担当。



著書『となりのホンドギツネ』(文一総合出版)

お申込方法

放送大学岐阜学習センターまで、電話又はメールでお申し込みください。

※電話受付：開所日 9:00～17:30

※メールの場合 ①氏名 ②よみがな ③電話番号 をご記入ください。

<問合せ・申込み> 開所日：月・祝(8月・9月) / 月・火・祝(10月)

放送大学岐阜学習センター

〒500-8384 岐阜市藪田南5丁目14番53号

OKBふれあい会館内

電話：058-273-9614

Email：gifu-sc@ouj.ac.jp

主催：放送大学 岐阜学習センター

共催：羽島市



会場にて
写真の展示も
同時開催！